

<特集「アスペクト」>

グイ語資料：アスペクト G|ui data: aspect

加藤 幹治¹, 大野 仁美², 中川 裕³
Kanji Kato, Hitomi Ono, Hiroshi Nakagawa

¹ 東京外国語大学大学院総合国際学研究所

² 麗澤大学外国語学部

³ 東京外国語大学大学院総合国際学研究院

Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

Faculty of Foreign Studies, Reitaku University

School of Language and Cultural Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨：『語研論集』特集 15 号の「アスペクト」の調査票に基づき収集した、コエ・クワディ語族グイ語の資料を提示する。

Abstract: This article provides G|ui data collected by using the questionnaire “Aspect” designed by Shinjiro Kazama.

キーワード：コイサン諸語, アスペクト

Keywords: Khoisan, aspect

1. はじめに

この報告は『語研論集』特集 15 号の「アスペクト」の調査票に基づくグイ語 (G|ui) 資料収集の結果を提示する。グイ語は、カラハリ言語帯 (コイサンの名でも知られる言語地域)、コエ・クワディ語族、南西カラハリ・コエ語派ガナ語群に属し、ボツワナ共和国ハンシー県・クエネング県で話される。話者数は約 800 人と推定される (Nakagawa 2006)。

資料収集手順は次の通りである。まず、調査票に列記された項目の日本語文に対応するグイ語訳暫定案を中川裕が作成し、それをもとに大野仁美と中川が母語話者 2 人との面談調査により、実際の適格なグイ語文およびそれに類似・関連する文などの資料を引き出し記録した。面談はグイ語で行った。次いで、加藤幹治が、その記録を集約し、中川が編纂中のグイ語辞書および文法的形態素リストを用いて、形態素ごとに逐語訳がなされた例文へ整形した上で、全体的な文書作成を行った。なお、調査票の項目の日本語表現に含まれる、グイ語の社会的文脈に馴染まない単語は適宜入れ替えを行った。

次節の記述では、同調査票で用いられた項目の順序になるべく従って資料を配列する。グイ語表示は音韻論的妥当性を満たす簡略音声表記であり、記号は IPA に基づく。なお、この研究は JSPS 科研費の助成を受けている (課題番号: 16H01925, 18H00661, 18K18500, 18KK0006, 18K00582, 19H01264, 20H00011)。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

2. 資料

この節でグロスに用いる略号は以下のとおりである。

ACC = accusative, ASSOC = associative, C = common (男性と女性を含む), COP = copula, EMPH = emphatic, F = feminine, FUT.1 = 今日未来, FUT.2 = 明日未来, GEN = genitive, INCL = inclusive, IPFV = imperfective, IRR = irrealis, JUNCT = juncture (複合節における非末動詞を作る形態素), M = masculine, NEG = negative, NOM = nominative, P.N. = proper noun, PASS = passive, PFV = perfective, PL = plural, PRF = perfect, PROG = progressive, PST.1 = 今日過去, PST.2 = 昨日過去, PST.3 = 遠過去, PST.N = 昨夜過去, REFL = reflexive, SG = singular.

なお、表示を簡潔にするために、英単語で性数格が十分に伝わる場合は、略号の組み合わせの代わりに英単語を用いている。

- (1) kééχà=bì †ʔāā̄ (k^hā) àà
P.N.=3M.SG.NOM already EMPH come
ケーハはすでに来た。

グイ語はアスペクトを表す一連の不変化詞を有するが、それらは全て不完結相 (imperfective) の意味を有する。完結相 (perfective) はアスペクト詞の不使用・無標で示される。時制もまた一連の不変化詞で表され、時制詞とアスペクト詞は共起可能である。

- (2) ʔā=ɪ̀n k^hóè=bì †ʔāā̄ (k^hā) àà
that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM already EMPH come
あのひとはすでに来た。

- (3) kééχà=bì qχ'ájà àà
P.N.=3M.SG.NOM long.ago come
ケーハはだいぶん前に来た。

- (4) ʔā=ɪ̀n k^hóè=bì qχ'ájà àà
that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM long.ago come
あのひとはだいぶん前に来た。

- (5) kééχà=bì cūū̄ cì àà
P.N.=3M.SG.NOM already IPFV come
ケーハはすでによく来るようになっている。

- (6) ʔā=ɪ̀n k^hóè=bì cūū̄ cì àà
that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM already IPFV come
あのひとはすでによく来るようになっている。

- (7) kééχà=bì kōōkā àà-c^hīmā
P.N.=3M.SG.NOM yet come-NEG
ケーハはまだ来ていない。

(8) ʔā=ɪ̃m kʰóè=bì kōōkā àà-cʰɪ̃mā
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM yet come-NEG
 あのひとはまだ来ていない。

(9) kééχà=bì cì sūũ kʰā àà
 P.N.=3M.SG.NOM IPFV soon EMPH come
 ケーハはもうすぐ来る。

(10) ʔā=ɪ̃m kʰóè=bì cì sūũ kʰā àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM IPFV soon EMPH come
 その男はもうすぐ来る。

「もう(すぐ)来る」, すなわちその動作はまだ実現していないが, 実現直前である場合も *imperfective* のアスペクト詞を用いる。(11)と(12)に例示する通り, アスペクト詞を使用しなければ完結相となり, その動作がすぐに実現したこと(「これから実現する」ではなく)を表す。

(11) kééχà=bì ∅ sūũ (kʰā) àà
 P.N.=3M.SG.NOM PFV soon EMPH come
 ケーハはすぐに来た(そして今ここにいる)。(perfective ∅)

これはアスペクト詞が用いられていない完結相の例である。アスペクト詞の不在(結果として完結相形となる)を明示するために ∅ を入れてある。下の例も同様。

(12) ʔā=ɪ̃m kʰóè=bì ∅ sūũ (kʰā) àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM PFV soon EMPH come
 その男はすぐに来た(そして今ここにいる)。(perfective ∅)

この(12)の文の ∅ の位置に IPFV の cì を入れると「すぐに来る」の意味になる。例(13)のように時制詞がある場合も, アスペクト詞がなければアスペクトは完結相である。

(13) ʔàbì ɲjĩ ∅ kʰā !úù címā sūũ (kʰā) àà
 he PST.N ∅ EMPH go but soon EMPH come
 今出て行ったけどすぐ来た。

(14) kééχà=bì hĩ sūũ (kʰā) àà
 P.N.=3M.SG.NOM FUT.1 soon EMPH come
 ケーハはすぐに来る。

(15) ʔā=ɪ̃m kʰóè=bì hĩ sūũ (kʰā) àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM FUT.1 soon EMPH come
 あの男はすぐに来る。

今日未来の hĩ と perfective の組み合わせは可能。hĩ と imperfective の cì は共起不可(以下(16)(17)を参照)。

(16) *kééχà=bì hī cì sūū k^hā àà
 P.N.=3M.SG.NOM FUT.1 IPFV soon EMPH come
 ケーハはすぐに来るところだ (非文).

(17) *ʔā=m̄n k^hóè=bì hī cì sūū k^hā àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM FUT.1 IPFV soon EMPH come
 その男はすぐに来るところだ (非文).

日本語の「(あ!) ~さんが来た!」という、その人が来るのに気づいた場面での発話、すなわち、その人が (まだ話者のところには到達していないが) こちらに向かっているところを見ての発話は、動作が移動しながら進行中であることを表すアスペクト詞 kùà を用いる。

(18) kééχà=bì kùà àà
 P.N.=3M.SG.NOM PROG come
 ケーハが来た (こちらに向かって近くまで移動してきている).

(19) ʔā=m̄n k^hóè=bì kùà àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM PROG come
 あの男が来た (ふつう今来ているところを見たときに使う).

(20) kééχà=bì c^hū àà
 P.N.=3M.SG.NOM PST.2 come
 昨日ケーハが来た.

その動作が過去に生じたことを表すには、過去の時制詞を用いる。この例はアスペクト詞不使用なので、アスペクトは完結相である。

(21) ʔā=m̄n k^hóè=bì c^hū àà
 that=3M.SG.GEN person=3M.SG.NOM PST.2 come
 昨日あのひとが来た.

(22) kééχà=bì c^hū cúá àà
 P.N.=3M.SG.NOM PST.2 NEG come
 ケーハは来なかった.

(22) は意外性が感じられる。来ると言ったのに来なかったという否定の場合に cúá を使う。(23) を参照。

(23) kééχà=bì c^hū àà-c^hīmā
 P.N.=3M.SG.NOM PST.2 come-NEG
 ケーハは来なかった (意外性は感じられない).

(24) cìrè kì ʔáā=sì |χáā=sà qχ'ájà qχ'óō
 I PST.1 that=3F.SG.GEN meat=3F.SG.ACC already eat
 私はあの肉をもう食べた.

- (25) cìrè ʔáá=sì |χáá=sà kōōkā qχ'óō-c^hīmā jā ŋ||áū hī
 I that=3F.SG.GEN meat=3F.SG.ACC yet eat-NEG and later FUT.1
 ʔēsà qχ'óō
 3F.SG.ACC eat

私はあの肉をまだ食べていない，後で食べる。

- (26) cìrè hī ŋ|ĩŋʔúũkà cúá ŋ|ĩ=sì |χáá=sà qχ'óō jā hī
 I FUT.1 right.now NEG this=3F.SG.GEN meat=3F.SG.ACC eat and FUT.1
 k^háókà ʔēsà qχ'óō
 later 3F.SG.ACC eat

私はまだ今はこの肉を食べない，あとで食べる。

「まだ食べない」は，近い将来その動作を行わないということなので，今日未来の時制詞 hī を用いる。
 hī は 2 回必要で，2 つ目は相対的時制。

- (27) ʔàbì ŋ|ĩŋʔúũkà cì ŋ|ĩ=sì |χáá=sà qχ'óō
 he right.now IPFV this=3F.SG.GEN meat=3F.SG.ACC eat
 彼はいま肉を食べている。

動作が進行中であることを表すにはアスペクト詞 cì を用いる。なお，グイ語には進行を表すアスペクト詞は cì 以外に意味の異なる 5 種類がある。詳しくは，Nakagawa (2016) 参照。

- (28) ŋ|úū-qχ'ám=sì ||χórē-sā-hā
 hut-mouth=3F.SG.NOM open-PASS(REFL;JNCT)-PRF
 小屋のドアが開いている。

「ドアが開いている」のは，誰か，あるいは風などがドアを開けた結果の状態が続いているということなので，ドアを主語にした場合は，受身の完了 (perfect) の形式-sā-hā で表される。

- (29) ŋ|úū-qχ'ám=sì kì ||χórē-sā-hā címā ŋ|ĩŋʔúũkà ʔēsì
 hut-mouth=3F.SG.GEN PST.1 open-PASS(REFL;JNCT)-PRF but right.now 3F.SG.NOM
 ʔíqχ'ám-sā-hā
 close-PASS(REFL;JNCT)-PRF

小屋のドアは開いていたが，今はしまっている。

- (30) cìrè cì òē |ám k^hā ts^háá=sà àrē
 1SG.NOM IPFV all day EMPH water=3F.SG.ACC fetch.water
 私は毎日水を汲んでいる。

アスペクト詞 cì は習慣・反復を表すのにも用いられる。

- (31) tsī sīrī=sà ŋ|áē-hā
 2M.SG.NOM your.mother=3F.SG.ACC resemble;JNCT-PRF
 あなたはお母さんに似ている。

「似ている」は完了で表される。進行形は使えない。「だんだん似て来る」という内容は表現できない。また、似ていたのに今は違うとも言わない。

- (32) ʔēsì qχ'ò qχ'áòkò=mà sēē-hā cí mā ŋ|ĩŋ#úũkà qχ'áòkò=mà
 she PST.3 husband=3M.SG.ACC take;JNCT-PRF but right.now husband=3M.SG.ACC
 !qχ'ārē-hā
 lack;JNCT-PRF
 彼女は、かつては夫がいたが、今は夫がいない。

- (33) ʔēsì ŋ|ĩŋ#úũkà qχ'áò-ŋ|àwā-hā
 she right.now male-be.single;JNCT-PRF
 彼女は今夫がいない。

- (34) cìrè qχ'ò ||ò cì g'lúí=mà ||ʔáũ
 I PST.3 trait IPFV trap=3M.SG.ACC set
 かつては罾猟に行ったものだ。

「かつて～していた」という過去の習慣を表すには、遠過去時制とアスペクト詞 *cí* とを組み合わせる（なお、習慣を表すアスペクト詞と進行を表すアスペクト詞の意味的な違いについては大野 (2020) 参照）。

- (35) cìrè qχ'ò Māũ=sì wà !ūwā-hā
 1SG.NOM PST.3 P.N.=3F.SG.GEN in go;JNCT-PRF
 私はマウンに行ったことがある。

「経験」は完了で表す。進行を表すアスペクト詞は使わない。

- (36) báāsì=sì cì !úũ
 bus=3F.SG.NOM IPFV go
 バスが動き出した。

動作が開始直前であることもアスペクト詞 *cì* で表す。

- (37) báāsì=sì cì ŋ|ĩĩ-k^hā !úũ
 bus=3F.SG.NOM IPFV be.about.to-EMPH go
 まさに動こうとしている。(ずっと待っていて、エンジンがかかった。)(乗客の立場から。)

- (38) báāsì=sì !úũ
 bus=3F.SG.NOM go
 (バスに乗り遅れた人からみて) バスが出発した。

バスに乗り遅れた人が今出て行ってしまったバスを見ながらいう場合はアスペクト詞を用いない完結相である。

(39) ʔēsì c^hū ||ùì
 she PST.2 be.lying.down
 昨日彼女はずっと寝ていた。

(40) ʔēsì c^hū ||ùì-nā
 she PST.2 be.lying.down-state
 昨日彼女はずっと寝ていた（ある一定の時間）。

姿勢動詞の場合は，状態の継続を表すのに-nā を用いる。

(41) òē kámá kà
 all time at
 一日中／いつも

(42) ʔēsì c^hū cì òē kámá kà ||ùì
 she PST.2 IPFV all time at be.lying.down
 彼女は昨日あたりまで寝ていた（が今は寝てない）。

(43) ʔēsì c^hū k^húmá ||óé jā ||ùì |ám=bì jā ʔ^hēē
 she PST.2 in.the.morning lie and be.lying.down sun=3M.SG.NOM and set
 彼女は昨日朝から寝ていて，一日中寝続けた（寝ているうちに日が暮れた）。

(44) cìrè cì ʔēsà g|àà
 I IPFV 3F.SG.ACC try
 私はそれをちょっと食べて／使ってみた（lit. 試した）。

(45) cìrè cì ʔēsà kúm
 I IPFV 3F.SG.ACC try
 私はそれを味見する。

(46) *g|àà-tséékàχō
 try;JNCT-use
 （非文）g|àà jā ... tséékàχō

「試す」と「使う」を合わせて「試し使う」のようにはできない。「試して，そして使う」とする。

(47) ʔàbì cì ʔúúχò=dzì ʔànà g|óò
 he IPFV food=3F.PL.ACC 3C.PL.ACC share.with
 彼は食べ物を彼らに分け与える。

(48) ʔàbì cì ʔúúχò=dzì ʔànà χárō
 he IPFV food=3F.PL.ACC 3C.PL.ACC serve.for
 彼は食べ物を彼らに盛り分ける。

例 (47)・(48) のアスペクト詞 *ci* の代わりにアスペクト詞 *hā-ci* を使うと、長時間の繰り返しを意味する。

- (49) *cià* *!úù*
 1C.INCL.PL.IRR go
 さあ行くよ！

勧誘は 1 人称 inclusive の irrealis 形で示される。過去時制は用いない。

- (50) *!ám=sì* *ci* *‡qχ'úā jā* *ŋ!áé jā* *‡^hēē*
 sun=3F.SG.NOM IPFV appear and pass and set.down
 太陽は出て（天を）巡って沈む。

「恒常的な真理」のうち、恒常的な運動については、アスペクト詞 *ci* を用いる。

- (51) *!ám=sì* *ci* *‡qχ'úā jā* *ŋ!áé jā* *ci* *‡^hēē*
 sun=3F.SG.NOM IPFV appear and pass and IPFV set.down
 太陽は出て（天を）巡って沈む（2カ所に *ci* を使っても良い）。

- (52) *ĩĩ=bì* *ci* *|qχ'áé*
 tree=3M.SG.NOM IPFV fall.down
 木が今にも倒れそうだ。

その動作が起こる直前であることを表すのにもアスペクト詞 *ci* を用いる。

- (53) *ŋ|ĩĩ* *k^hā* *ĩĩ=bì* *ci* *|qχ'áé*
 eventually EMPH tree=3M.SG.NOM IPFV fall.down
 とうとう木は倒れ始めた (lit. 倒れ始めている)。

じきに倒れることがわかっている場合は副詞 *ŋ|ĩĩ-k^hā* を使う。

- (54) *cìrè sēmā* *k^hā* *|qχ'áé*
 I closely EMPH fall.down
 危うく転ぶところだった。

- (55) *cìrè* *c^hū* *sēmā* *k^hā* *||ʔóó*
 I PST.2 nearly EMPH die
 昨日死ぬところだった (死にそうになった)。

- (56) *cìrè* *ci* *ŋ|ĩ* *!ám* *kà* *páré=sà* *||ʔáĩ* *!ʔúú* *kà*
 I IPFV this day on bread=3F.SG.ACC buy tomorrow on
k^hôè-χà=rì *ʔūsì* *cíā* *jírá* *k^hùà*
 person-ASSOC=3C.PL.NOM FUT.2 me visit because
 明日客が来るので、私は今日パンを買っておく (lit. 買う)。

「～しておく」にあたる内容を意味するアスペクト表現はない。

(57) !ʔúū kà k^hóè-χà=rì ʔūsì cíā jírá k^hùà cìrè cì ŋǐ
 tomorrow on person-ASSOC=3C.PL.NOM FUT.2 me visit because I IPFV this
 |ám kà (ʔābāχō jā cì) páré=sà ||ʔáí
 day on (prepare and IPFV) bread=3F.SG.ACC buy
 明日客が来るので，(準備して)パンを買っておく (lit. 買う)。

(58) !ʔúū kà k^hóè-χà=rì ʔūsì cíā jírá cìrè jā cì ŋǐ |ám
 tomorrow on person-ASSOC=3C.PL.NOM FUT.2 me visit I and IPFV this day
 kà (ʔābāχō jā cì) páré=sà ||ʔáí
 on (prepare and IPFV) bread=3F.SG.ACC buy
 明日客が来る，(準備して)パンを買っておく (lit. 買う)。

(59) cìrè c^hū Māū=sì wà lúú jā ŋǐ=sì jùbē=sà ||ʔáí
 I PST.2 P.N.=3F.SG.GEN in go and this=3F.SG.GEN bag=3F.SG.ACC buy
 私は昨日マウンに行って，この袋を買った。

(60) cìrè c^hū Māū=sì kà !ʔúā (dā) ŋǐ=sì jùbē=sà ||ʔáí
 I PST.2 P.N.=3F.SG.GEN of before (to) this=3F.SG.GEN bag=3F.SG.ACC buy
 私は昨日マウンに行く前(途中)でこの袋を買った。

(61) cìrè ʔē !ʔánā-hā ʔàm c^hū ŋǐ=sì jùbē=sà
 I it know;JNCT-PRF 3M.SG.GEN PST.2 this=3F.SG.GEN bag=3F.SG.ACC
 Māū=sì wà ||ʔáí=sà ʔà
 P.N.=3F.SG.GEN in buy=3F.SG.ACC COP
 私は彼が市場でこの袋を昨日買ったのを知っている。

(62) cìrè ʔē !ʔánā-hā ʔàm χà ŋǐ=sì jùbē=sà
 I it know;JNCT-PRF 3M.SG.GEN can this=3F.SG.GEN bag=3F.SG.ACC
 Māū=sì wà ||ʔáí=sà ʔà
 P.N.=3F.SG.GEN in buy=3F.SG.ACC COP
 私は彼がこの袋を買うだろうこと(買いそうだということ)を知っていた。

(63) *cìrè c^hū ʔē !ʔánā-hā ʔàm c^hū ...
 I PST.2 it know;JNCT-PRF 3M.SG.GEN PST.2 ...
 非文

この場合，今日が 12/31 とすると，知っていたのは 12/30 で，彼が袋を買ったのは 12/29 となり非文。
 次の例も同様に非文。

(64) *cìrè c^hū ʔē !ʔánā-hā ʔàm qχ'ō ...
 I PST.2 it know;JNCT-PRF 3M.SG.GEN PST.3 ...
 非文

参考文献

Nakagawa, Hiroshi (2006) !Gui dialects and !Gui-speaking communities before the relocation from the CKGR, *Pula: Botswana Journal of African Studies*, 20(1): 42–52.

Nakagawa, Hiroshi (2016) The aspect system in Glui: with special reference to postural features. *African Study Monograph*, 52: 119–134.

大野仁美 (2020) 「グイ語における姿勢動詞の文法化」『言語と文明』18(1): 103–112. 麗澤大学大学院.

執筆者連絡先 : jiateng.ganzhi@gmail.com (加藤幹治), ono@reitaku-u.ac.jp (大野仁美),
nhiroshi@tufs.ac.jp (中川裕)

原稿受理日 : 2020年12月1日